

2021年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	1年次／前期			
科 目 名	エステティック理論（関連法規）		担当教員	新原 涼子			
授業形態	講義	授 業 時間数	16	単位数	1	授業回数	8
科目の到達目標及び授業内容 エステティックの語源や領域、ソワソワエステティックとは何かを理解する。 エステティシャンとしてのやり甲斐や、現場で求められるエステティシャン像を理解する。 日本人ならではの「おもてなしの心」の素晴らしさを学び、傾聴スキルを身につける。 自身の性格タイプを知り、接客やコミュニケーションに役立てることができるようになる。 エステティックを商業とするにあたって必要な法規を理解し、実際のサロンワークで活用できるようになる。							
授 業 計 画	1・2	エステティックの概念					
	3・4	「おもてなし」と「傾聴」の大切さ					
	5・6	自己分析（エゴグラム）					
	7	エステティック関連法規					
	8	後期試験					
成績評価	①平常点(出席・授業態度・意欲) 80% ②定期試験 20%						
教科書・教材	テキスト2 配布プリント						
使用教具・器材							
テキスト・参考文献：							
その他(授業担当者のコメントなど) プロのエステティシャンになることを見据えて、そのために何が大切であるかを学んでください。 積極的に接客やマナーにかかわる図書を読んだり、日常の対人関係を意識して過ごしてください。							

2021年度 授業計画表

学 科	エステティック学科	開講時期	1年次/通年			
科 目 名	解剖生理学	担当教員	高橋 美沙子			
授業形態	講義・演習	授業時間数	80	単位数	5	授業回数 40
科目の到達目標及び授業内容 <ul style="list-style-type: none"> ●誰もが心身ともに健やかに生きたいと願うが、自然に訪れる老化現象をはじめ、多様な理由から健康を損なったり、心身の不調を感じたりする。そのメカニズムを理解する。 ●健康であることを基本として人体のしくみを学ぶ。 ●生物体が生きて働く生理学と、その構造を調べる解剖学がある。この二つを結びつけ学ぶ。 						
授 業 計 画 面	1~3	生理解剖学 第1章~第9章 生理解剖学の基礎知識 恒常性の維持、代謝、反射、臓器の働きなど基礎的な項目を学ぶ				
	4~5	生体調節のしくみ 自律神経系のしくみやその作用について学ぶ				
	6~8	人体構成のしくみ 人体の形態的構成、物質的構成について学ぶ				
	9~13	骨格・筋肉系統について 骨・筋肉の種類とその名称と働きについて学ぶ				
	14~15	消化器系について 消化器系とその付属期間の働きについて学ぶ				
	16~18	呼吸器・循環器系について 呼吸器・循環器のしくみや体循環・肺循環について学ぶ				
	19~20	心臓の自動性と刺激伝導系、血液成分について学ぶ 泌尿器・生殖系について				
	21~22	腎臓の働きや生殖と遺伝について学ぶ 内分泌系について 内分泌・外分泌、ホルモンと分泌腺、女性らしさについて学ぶ				
	23.24	前期試験 解剖学・生理学基礎				
	25~29	人体のしくみを具体的に理解しさらにワークショップを実施する				
授 業 計 画 面	30~35	大脳生理学 第1章~第2章 大脳生理学の基礎知識 脳の構造とその働きについて学ぶ 神経系の構造とそのしくみについて学ぶ				
	35~38	人体生理学・大脳生理学のまとめ				
	39.40	後期試験 (解剖生理学・大脳生理学)				
成績評価	①平常点(出席率) 10% ②定期試験 90% *平常点は出席率100%で10%の評価とする。					
教科書・教材	ソワンエステティック理論編1 配布プリント					
使用教具・器材						
テキスト・参考文献:	新版 からだのしくみカラー辞典					
その他(授業担当者のコメントなど)	色鉛筆(12色以上) A4サイズのファイル					

2021年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	1年次/通年			
科 目 名	皮膚科学		担当教員	林 美喜			
授業形態	講義・演習		授業時間数	96	単位数	6	授業回数 48
科目の到達目標及び授業内容 皮膚科学概論を理解する。皮膚の役目、生理作用について理解する。知覚神経について理解する。 肌質について理解する。肌トラブルと肌の構造について結び付けができるようになる。 肌トラブルに応じたトリートメントを考えられるようになる。 肌トラブルと、身体の仕組みや役割（解剖生理学）、化粧品学を併せて考えることが出来るようになる。 化粧品検定2級取得を目指す。							
授 業 計 画	1.2	皮膚科学概論・皮膚の構造（皮膚図にて皮膚の各層、名称を覚える）					
	3.4	皮膚各層の働きや特徴を理解する①					
	5.6	皮膚各層の働きや特徴を理解する②					
	7.8	皮膚の生理作用（角化・保護・分泌・表現・呼吸他）①					
	9.10	皮膚の生理作用（角化・保護・分泌・表現・呼吸他）②					
	11.12	皮膚の生理作用（知覚・抗体産生・ビタミンD形成・体温調節他）①					
	13.14	皮膚の生理作用（知覚・抗体産生・ビタミンD形成・体温調節他）②					
	15.16	肌質（肌タイプ）・素肌美の条件を理解することで肌トラブルの基礎を学ぶ①					
	17.18	肌質（肌タイプ）・素肌美の条件を理解することで肌トラブルの基礎を学ぶ②					
	19.20	皮膚トラブル（老化）					
	21.22	皮膚トラブル（ニキビ）①					
	23.24	皮膚トラブル（ニキビ）②					
	25.26	皮膚トラブル（シミ）①					
	27.28	皮膚トラブル（シミ）②					
	29	各皮膚トラブルの原因と対策の理解を深める					
	30	前期試験					
	31.32	日本化粧品検定対策					
	33.34	肌別に応じたカウンセリング（サロントリートメント、ホームケア、アドバイス）①					
	35.36	肌別に応じたカウンセリング（サロントリートメント、ホームケア、アドバイス）②					
	37.38	カウンセリング（肌診断・トーク力）①					
39.40	カウンセリング（肌診断・トーク力）②						
41.42	総合的な理解①						
43.44	試験対策・総合的な理解②						
45	後期試験						
46.47.48	総合的な理解③						
成績評価	①平常点（出席・授業態度・意欲）20% ②前期試験 40%・後期試験 40% ＊全授業の80%以上出席していない場合は評価対象外となる						
教科書・教材	・テキスト1.2 ・配布プリント ・化粧品検定2.3級対策テキスト						
使用教具・器材							
テキスト・参考文献： 実技と並行して皮膚のことを学ぶ為、授業内容によっては、フェイシャルやボディを行う。							
その他(授業担当者のコメントなど) 色鉛筆（12色以上）準備し、配布されたプリントを整理整頓し、わからないことは、そのままにせず、調べたり、質問を繰り返し行い、話ができるようになる努力をしてください。							

2021年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	1年次/後期			
科 目 名	栄養学		担当教員	新原 涼子			
授業形態	講義		授 業 時間数	16	単位数	1	授業回数 8
科目の到達目標及び授業内容 栄養の定義と5大栄養素についての基礎知識を理解する。 また、口から取り入れた食物がどのように私たちの体の中で消化・吸収されるのかを学び、 バランスの取れた食事の大切さを学ぶ。 文科省推奨の日本人の食事摂取基準から、昨今見直されている「和食」のすばらしさを理解する。 GI値や抗酸化食品について学び、正しいダイエットや肌のアンチエイジング、皮膚トラブルに対する アドバイスができるようになる。学び得た知識をプロのエステティシャンとして自身が実践する。							
授 業 計 画	1・2	栄養の定義と5大栄養素について					
	3・4	食物の消化・吸収について					
	5・6	栄養素と皮膚、ダイエットの関連について					
	7・8	抗酸化食品について 試験					
成績評価	①平常点(出席・授業態度・意欲 80% 後期試験 20%)						
教科書・教材	・テキスト1.2 ・配布プリント						
使用教具・器材							
テキスト・参考文献： 栄養の基本がわかる図解辞典（成美堂） 栄養素図鑑（新星出版社） 他							
その他(授業担当者のコメントなど) 栄養学は、エステティシャンにとって、美しい肌作りや健康的なプロポーションのために必須の教科です。 お客様に説得力をもってアドバイスできるように、常に新しい情報を取り込み、自らが日々実践しましょう。 口から入れたものから、身体や皮膚がつくられるということを深く理解してください。							

2021年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	1年次/通年			
科 目 名	化粧品学		担当教員	高橋 美沙子			
授業形態	講義	授 業 時間数	32	単位数	2	授業回数	16
科目の到達目標及び授業内容 <ul style="list-style-type: none"> 化粧品上の扱いや分類、取り扱い上の留意点、そして化粧品の目的と機能、使用される主な原料などを学び、エステティシャンとしての必須知識を習得する。 自分の言葉で適切に説明ができるようにする。 							
授 業 計 画	1~4	<ul style="list-style-type: none"> 化粧品の必要性を学ぶ 化粧品概論（薬事法・化粧品の分類・目的・取り扱い上の注意点） 基礎化粧品（洗顔料・化粧水・クリーム類・賦活化粧品・サンケア科） <p style="text-align: center;">検定対策テキスト美容知識</p>					
	5~6	<ul style="list-style-type: none"> 化粧品の原料を学ぶ 基材原料（水性原料・油性原料・界面活性剤・保湿剤・高分子化合物・色材原料・香料） 化粧品に用いられる薬剤とその働き （紫外線防止剤・酸化防止剤・防腐剤・殺菌剤・美白剤・抗炎症剤・鎮静剤・ビタミン剤） 成分表作成（肌質別） 					
	7~8	<ul style="list-style-type: none"> 教材の成分や特徴を学ぶ 					
	9	<ul style="list-style-type: none"> 前期試験 					
	10~12	<ul style="list-style-type: none"> 化粧品を肌別仕様に分析する グループでリサーチし発表する 					
	13~15	<ul style="list-style-type: none"> 皮膚トラブルに対する適切なケアをするための化粧品の成分・使用目的を考えることを学ぶ 					
	16	<ul style="list-style-type: none"> 後期試験 					
	成績評価	①平常点(出席率) 10% ②定期試験 90% *平常点は出席率100%で10%の評価とする。					
教科書・教材	教科書Ⅲ、化粧品検定教本2・3級 プリント配布						
使用教具・器材							
テキスト・参考文献： A4クリアファイル（配布資料の保存） 模造紙、色紙、風船、ボール等の使用有。							
その他(授業担当者のコメントなど)							

2021年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	1年次／通年			
科 目 名	フェイシャル		担当教員	鶴 舞子 (美容業界勤務時にフェイシャルの実務経験)			
授業形態	講義・実習		授 業 時間数	192	単位数	6	授業回数 96
科目の到達目標及び授業内容 肌診断後、その肌に応じた(ハンド・美容機器を含めた)トリートメントを組み立て、時間内に施術が出来るようになる。 マッサージの六技法や、マッサージの目的、トリートメントの目的を理解し、知識と技術をマスターする。 施術工程の目的に併せた化粧品を選択し、知識を技術に反映させることができるようになる。 心身の状態が肌に関係に深いことを他教科で学んだ上で、相手を思いやる気持ちを掌で伝えるエステティシャンとして必要なスキルを身につける。							
授 業 計 画	1-3	実習室備品等の説明・機器の使用方法や注意点・実習準備について(ベッド誘導含む)					
	4-6	スポンジ・蒸しタオルの手順・オイル塗布・オイル伸ばし手順					
	7-9	マッサージの目的や六技法・技術ポイント等					
	10-12	マッサージデコルテ					
	13-15	マッサージフェイシャル①					
	16-18	マッサージフェイシャル②					
	19-21	マッサージフェイシャル③					
	22-24	マッサージフェイシャル④					
	25-27	マッサージ確認テスト					
	28-30	クレンジング手順(ポイントメイク落とし・デコルテ・フェイシャル)					
	31-33	吸引					
	34-36	トレーニング					
	37-39	前期試験					
	40-42	パック					
	43-45	トレーニング					
	46-48	トレーニング					
	49-51	美容機器取り扱いについて					
	52-54	トレーニング					
	55-57	トレーニング					
	58-60	トレーニング					
61-63	トレーニング						
64-66	後期試験						
67-69	トレーニング						
70-72	トレーニング						
73-75	トレーニング						
76-78	トレーニング						
79-81	トレーニング						
82-84	トレーニング						
85-87	トレーニング						
88-90	トレーニング						
91-93	トレーニング						
94-96	トレーニング						
成績評価	①平常点(出席・授業態度・意欲)20% ②前期試験40%・後期試験40% *全授業の80%以上出席していない場合は評価対象外となる						
教科書・教材	テキスト1~4 ファイル1冊(プリント配布)						
使用教具・器材	フェイシャル機器(吸引・電気導入・ウッドランプ・スチーム)						
テキスト・参考文献：							
その他(授業担当者のコメントなど) 理論の上に実技を行える人になること。3Hの法則を忘れず授業に挑むこと。 「難しい」「分からない」「出来ない」から始まる授業に成長はありません。 常に向上心を持って「好きこそものの上手なれ」です。時間を大切に組みましょう！							

2021年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	1年次/通年				
科 目 名	ボディ		担当教員	鶴 舞子 (美容業界勤務時にボディの実務経験) 宮永 千春 (美容業界にてネイル実務現役活動中)				
授業形態	講義・実習		授 業 時間数	160	単位数	5	授業回数	80
科目の到達目標及び授業内容 身体の仕組み、働きや作用を理解し、部位別の目的（リラクゼーション・プロポーション）に応じたケアを学ぶ。 くるぶしから下のフットケアについても学び、技術を修得する。 各マッサージの手技（六技法）と目的を理解する。 美容機器の使用目的、注意点、禁忌事項を理解する。 フットケア（ペディキュア）の基礎知識と技術を学びサロンワークに必要な技術を身につける。								
授 業 計 画 画	1	フットケア理論（解剖生理学の理解、爪の病気、足のトラブル） 準備品、ベッド誘導、実技中のタオル操作、ワゴン操作等を理解する						
	2-3	フットケア実技						
	4-6	フットケア実技						
	7	ボディ理論（解剖生理学の理解、六技法、ボディマッサージの必要性や目的について）						
	8-10	ボディ準備品、ベッド誘導、実技中のタオル操作、ワゴン操作等を理解する						
	11-13	背面下肢のマッサージ						
	14-16	臀部のマッサージ						
	17	小テスト						
	18-20	背中のマッサージ						
	21-23	前面下肢のマッサージ						
	24-26	腹部のマッサージ						
	27・28	バスタのマッサージ						
	29-31	上肢のマッサージ						
	32-34	トレーニング						
	35-37	トレーニング						
	38-40	ペディキュア基礎理論 消毒・ケア・ファイリング・カラー デモンストレーション&実技						
	41-43	ペディキュア デモンストレーション&実技 タイムアタック						
	44-46	後期試験(実技)						
	47・48	後期試験(理論)						
	49-51	トレーニング						
52-54	トレーニング							
55-57	トレーニング							
58-60	トレーニング							
61-63	トレーニング							
64-66	トレーニング							
67-69	トレーニング							
70-72	トレーニング							
73-75	トレーニング							
76-78	トレーニング							
79・80	トレーニング							
成績評価	①平常点(出席・準備品・授業態度・小テスト) 20% ②後期試験 理論20% 実技60% *全授業の80%以上出席していない場合は評価対象外となる							
教科書・教材	テキスト1～4 ファイル1冊（プリント配布）							
使用教具・器材	低周波・G5 ビューティフット・ブラックファイル・タオル・その他必要に応じて							
テキスト・参考文献：								
その他(授業担当者のコメントなど) 理論の上に実技を行える人になること。3Hの法則を忘れず授業に挑むこと。 「難しい」「分からない」「出来ない」から始まる授業に成長はありません。 常に向上心を持って「好きこそものの上手なれ」です。時間を大切に取り組みましょう！								

2021年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	1年次／通年			
科 目 名	メイクアップ		担当教員	齊藤 晴美 (美容業界にてメイクアップ実務現役活動中) 中村 恭子 (美容業界にてメイクアップ実務現役活動中)			
授業形態	講義・実習		授 業 時間数	96	単位数	3	授業回数 48
科目の到達目標及び授業内容 メイクアップの基礎知識・基礎技術を習得し、顔を的確に観ることが出来るようになる。 また、TP0に合わせた応用メイク、個性を活かしたメイクとバリエーションを広げ、メイクアップの総合技術を習得する							
授 業 計 画 画	1・2	授業計画説明・教材配布・管理方法・テーブルセッティング・基本スタンス・体重移動・モデルセッティング・メイクアップ製品について					
	3～20	ベーシックメイクアップ基本技術展示・相モデル実習 ファンデーション・アイブロウ・アイメイク・チーク・ ハイライト・シェーディング・トータルバランス					
	21～23	復習					
	24～26	前期試験					
	27～42	TP0やファッションバランスを考えたメイクアップ・セレモニーメイクアップ 実技展示・相モデル実習					
	43～45	復習					
	46～48	後期試験					
成績評価	① 平常点 20% (出席点 10%・態度意欲 10%) ② 課題 20% ③ 実技試験 60% (前期 30% 後期 30%)						
教科書・教材	教科書・メイク教材一式・スキンケア用品持参・その他 (ヘアバンド・タオル・綿棒・ティッシュペーパー・コットン類・トレイ類・色鉛筆・スケッチブック・デッサン用鉛筆)						
使用教具・器材							
テキスト・参考文献：							
その他(授業担当者のコメントなど) 毎回実技を行いますので必要道具等、忘れ物がないようにしてください。道具の貸し借りは禁止とします。忘れ物があり、実技が出来ない場合は実習見学となります。授業開始前にエステユニフォームを着用し、身だしなみを整えておいてください。 皮膚疾患等でメイクモデルが出来ない場合は医師の診断書等の事前提出をお願いします。 指定以外のメイク道具使用は禁止とします。							

2021年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	1年次/通年			
科 目 名	ネイル		担当教員	宮永 千春 (美容業界にてネイル実務現役活動中)			
授業形態	講義・実習		授 業 時間数	96	単位数	3	授業回数 48
科目の到達目標及び授業内容 ネイルケア、カラーリング、アートの基礎知識と技術を学び、ネイリスト技能検定3級資格とINFA国際ライセンスの取得を目指す。 サロンワークに必要な衛生管理とカウンセリング、ネイルケア&カラーの技術を身につけて サロン実践できるようになることを目標とする。 ネイリスト技能試験 3級受験予定日 2021年10月24日(日)							
授 業 計 画 画	1～3	自己紹介・商品説明・ネイルケア基礎理論(爪の構造、衛生学等)・テーブルセッティング					
	4～6	テーブルセッティング・手指消毒・カウンセリング・ファイリング・パフリング・デモンストレーション&実技 ※ファイリング課題					
	7～9	キューティクルクリーン・油分除去・カラーリング デモンストレーション&実技 ※課題チェック&修正					
	10～12	テーブルセッティング・ケア～カラーリング 実技通し練習 ※課題提出					
	13～15	フラットアート デモンストレーション&実技 (5枚花・バラ等) ※アート課題(テーマ3級検定アート)					
	16～18	タイムアタック ※課題チェック&修正					
	19～21	タイムアタック ※課題提出					
	22～24	前期テスト 実技70分 筆記60分					
	25～27	ケア&カラー&アート タイムアタック (検定対策 70分仕上げ) ※受験にあたっての注意点					
	28～30	検定対策 タイムアタック (苦手克服)					
	31～33	検定対策 タイムアタック					
	34～36	サロンワークトレーニング ファイリング&フラットアート (フレンチ・マーブル・ペイント等)					
	37～39	サロンワークトレーニング INFA試験対策 (ワゴンセッティング～ケアカラー) タイムアタック					
	40～42	INFA試験対策 タイムアタック アートチップ制作 ※サロンワークアート課題(テーマ自由)					
	43～45	後期テスト対策 タイムアタック ※課題提出					
	46～48	後期テスト 実技70分 筆記テスト60分					
成績評価	1) 平常点 10% 2) 定期試験(筆記 40% 実技 40%) 3) 課題 10%						
教科書・教材	JNAテクニカルシステムベーシック						
使用教具・器材							
テキスト・参考文献:							
その他(授業担当者のコメントなど) 毎回の授業で学生の理解度を確認し、必要に応じて苦手部分を克服出来るように進行する。							

2021年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	1年次／通年			
科 目 名	アロマセラピー		担当教員	齊藤 晴美 (美容業界にてアロマセラピー実務現役活動中) 中村 恭子 (美容業界にてアロマセラピー実務現役活動中)			
授業形態	講義・実習		授 業 時間数	64	単位数	2	授業回数 32
科目の到達目標及び授業内容 アロマセラピーとは・精油（エッセンシャルオイル）の安全な使用方法・プロフィール等、芳香療法を多方面から学ぶ原材料・歴史や健康学などの知識を深め、アロマセラピー検定1級取得をねらう（任意） ※アロマ環境協会 アロマセラピー検定試験時期 11月上旬							
授 業 計 画	1	テキスト、教材配布 授業計画説明、アロマセラピー概論①					
	2	アロマセラピー概論②					
	3～15	精油プロフィール DVD鑑賞					
	16	前期テスト					
	17～24	復習・理論まとめ					
	25～31	基材を用いたアロマセラピーの楽しみ方 アロマセラピー応用・様々な楽しみ方					
	32	後期試験					
成績評価	1) 平常点 20%（出席 10%・態度意欲 10%） 2) 課題・小テスト 20% 3) 定期試験 60%（前期後期試験各 30%）						
教科書・教材	アロマセラピー検定公式テキスト その他プリント						
使用教具・器材	アロマセラピー配布教材						
テキスト・参考文献：							
その他(授業担当者のコメントなど) エステティシャンには欠かせない知識・技術のアロマセラピー（芳香療法）です。1年次には主に知識面を学習します。 知識の習得具合を客観的に判断する為、アロマ環境協会主催のアロマセラピー検定1級の受験（11月）に合わせたスケジュールで進めていきます。植物アレルギーのある人は事前に申し出てください。 授業開始前にエステユニフォームを着用し、身だしなみを整えておいてください。衛生消毒には十分に留意し道具の管理をお願いします。							

2021年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	1年次／通年			
科 目 名	脱毛		担当教員	鶴 舞子（美容業界勤務時に脱毛の実務経験）			
授業形態	講義・実習		授 業 時間数	64	単位数	2	授業回数 32
科目の到達目標及び授業内容 毛の構造、毛の成長経過、毛の性質や部位別の毛の働きを理解する。 まつ毛やうぶ毛の処理をすることによりメイクアップの仕上がりに変化があることを他教科と並行して修得する。 脱毛処置の技術（一時的脱毛、電流による脱毛処理）、脱毛後の肌のお手入れ、脱毛処理ができない肌状態、健康状態など、脱毛に関する多方面から脱毛テクニックを修得する。							
授 業 計 画	1	毛髪についての基礎知識					
	2-3	脱毛の目的・技術 ・道具の説明					
	4	小テスト					
	5-6	ワックス脱毛の基礎知識 ・セッティング、手順、注意事項					
	7-8	ワックス脱毛デモンストレーション/トレーニング ・下肢 ・上肢 ・背面 ・腋					
	9	前期試験（筆記）					
	10-11	トレーニング					
	12-13	トレーニング					
	14-15	トレーニング					
	16-17	トレーニング					
	18-19	後期試験（実技）					
	20	トレーニング					
	21-23	トレーニング					
	24-26	トレーニング					
	27-29	トレーニング					
	30-32	トレーニング					
	成績評価	平常点 10% 前期試験（筆記） 40% 後期試験（実技） 50%					
教科書・教材	テキスト ファイル1冊（プリント配布）						
使用教具・器材							
テキスト・参考文献：							
その他（授業担当者のコメントなど） 理論の上に実技を行える人になること。3Hの法則を忘れず授業に挑むこと。 「難しい」「分からない」「出来ない」から始まる授業に成長はありません。 常に向上心を持って「好きこそものの上手なれ」です。時間を大切に組みましょう！							

2021年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	1年次/通年			
科 目 名	造形と色彩		担当教員	柴田 知子			
授業形態	講義	授 業 時間数	32	単位数	2	授業回数	16
科目の到達目標及び授業内容 パーソナルカラー検定3級合格を目指す。 身の周りの色彩に興味を持ち、実践に役立つ基本的な色彩の知識や配色技法を身につける。 色彩を通し仕事や生活の幅を広げていけるようにする。							
授 業 計 画 面	1~3	第1章 色彩と文化 (四季の自然を表す色~慣用色名などを学ぶ) ◇日本の色の歴史・・古来より美しい色彩、歴史とのかかわり ◇色と生活・・周りに取り巻く様々な色を見る ◇色の種類・・色名について理解する					
	4~6	第2章 色彩理論 色のしくみ~ 色に見えるメカニズムを知る ◇CUS表色系・・カラーアンダートーンシステムについて学ぶ					
	7~9	第2章 色彩理論 色の三属性~色を表す物差しについて理解する ◇対比現象・・対比効果と同化効果について ◇色の感情効果・・色のイメージや心理効果について					
	10	第2章 色彩理論 CUS配色 配色効果・配色演習					
	11	第3章 色彩とファッション~ブライダルと色彩について、服飾史の基礎知識					
	12	第4章 パーソナルカラー パーソナルカラー概論					
	13	前期試験					
	14	第4章 パーソナルカラー 肌のしくみ・皮膚の構造・髪の毛の科学・ヘアメイクについて					
	15.16	パーソナルカラーまとめ 検定対策					
成績評価	1) 平常点 10 % 2) 定期試験 90 %						
教科書・教材	パーソナルカラー検定公式テキスト・カラーカードCUS157						
使用教具・器材							
テキスト・参考文献:	パーソナルカラー検定3級問題集 color Arrangement						
その他(授業担当者のコメントなど)							

2021年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	1年次/後期			
科 目 名	キャリア形成		担当教員	畑山 未来			
授業形態	講義・演習		授 業 時間数	16	単位数	1	授業回数 8
科目の到達目標及び授業内容 学生から社会人へと自己意識を変革させる 働くことの意味を真に理解し、ビジネスパーソンに必要な「考え方・行動・技術」を身に付けるために 3つの能力を習得することを目標とする ・ビジネスマナー（挨拶・お辞儀・敬語などの言葉遣い・電話応対・訪問） ・企業・組織のしくみ、P D C A・報連相などの基本的な仕事の進め方 ・考える力、論理的思考能力							
授 業 計 画	1	オリエンテーション・自己紹介、ビジネスマナーとは・仕事をする意味・会社が求める人材像					
	2	社会人とは「社会人と学生との違い」、挨拶・お辞儀					
	3	身だしなみと第一印象、論理的思考トレーニング（考える力）					
	4	言葉遣いの基本（敬語、クッション言葉）					
	5	電話のかけ方・受け方、訪問のマナー					
	6	企業・組織のしくみ、仕事の進め方					
	7	報告・連絡・相談の基本、試験対策					
	8	後期試験、面接対策					
成績評価	①平常点(出席・授業態度・意欲) 20% ②定期試験 80%						
教科書・教材	配付プリント						
使用教具・器材	パソコン、プロジェクター						
テキスト・参考文献：							
その他(授業担当者のコメントなど) 「キャリア形成」で学ぶことは、「学生」から「社会人」へ羽ばたくために必要なスキルです。 日々の考え方・行動が習慣を変え、人生を変えていきます。 何のために何をやりたいのか、目標を明確にし自分が納得する就職ができるように努力を重ねていきましょう。							

2021年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	1年次/通年			
科 目 名	ヘアアレンジ		担当教員	原口 孝子 (美容業界勤務時にヘアアレンジの実務経験)			
授業形態	講義・実習		授 業 時間数	32	単位数	1	授業回数 16
科目の到達目標及び授業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・エステティシャンとして自分の夜会巻きスタイルを習得する ・ヘアアレンジへの興味を持ち、日常の自分のヘアスタイルにも工夫し身だしなみを整える ・何度も繰り返し練習することで、技術の習得する ・説明を聞き、手元を見て、実践することで、集中力を養う ・似合わせのデザインを考える力と、最後まで作り上げる責任感を持つ ・欠課が無いよう自己管理をする 							
授 業 計 画	1	自己紹介、一年間の流れや目標確認	自分の夜会巻きスタイルの練習①				
	2	アイロンを使って巻く	自分の夜会巻きスタイルの練習②				
	3	カールとツイストを使ってスタイルを作る (カール、ストレートアイロン)	夜会巻きチェック①				
	4	カールと編み込みでスタイルを作る	夜会巻きチェック②				
	5	カールと編み込みで後れ毛スタイルを作る	夜会巻きチェック③				
	6	ツイストでアップスタイルを作る	夜会巻きチェック④				
	7	ハーフアップのカールスタイルを作る	夜会巻きチェック①				
	8	編み込みでスタイルを作る	夜会巻きチェック②				
	9	カールでアップスタイルを作る	夜会巻きチェック③				
	10	編み込みでアップスタイルを作る	夜会巻きチェック④				
	11	パーティースタイルを作る①	夜会巻きチェック⑤				
	12	パーティースタイルを作る②	夜会巻きチェック⑥				
	13	パーティースタイルを作る③	夜会巻きチェック⑦				
	14	パーティースタイルを作る④	夜会巻きチェック⑧				
	15	INFA検定のスタイルを考えて作ろう① 道具の片づけ					
	16	INFA検定のスタイルを考えて作ろう② 道具の片づけ					
	成績評価	1) 平常点 20% 2) レポート 30% 3) 実技テスト 50%					
教科書・教材	プリント配布						
使用教具・器材	カールアイロン、ストレートアイロン、タオル二枚、 コーム、ピン、ダックカール、ビニールゴム						
テキスト・参考文献：							
その他(授業担当者のコメントなど) プリント管理のためのファイルを各自で用意 アイロンやコーム、ピンは、私物使用になるため、各自で用意の事(授業内で説明あり)							

2021年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	1年次/通年			
科 目 名	福祉皮膚美容		担当教員	高橋 美沙子			
授業形態	講義・実習		授 業 時間数	32	単位数	1	授業回数 16
科目の到達目標及び授業内容 ●人と人が「ふれあう」ことをコミュニケーションの手法とし、老若男女あらゆる人々に「心の癒し」「ストレスの解消」「一人ではないことへの安心感」を与える事を学ぶ。 ●健康であることを基本として人体のしくみを学ぶ。 ●個々のQOLを高めるための福祉活動の在り方について学ぶ。							
授 業 計 画	1	福祉皮膚美容の倫理と緩和ケアを学ぶ					
	2・3	人体の基礎知識（基本的には高齢者） ○ 人体の老化による変化を知る ○ 心身活動に対する適応 ○ 老化の原因 ○ 皮膚のしくみ					
	4・5	アロマセラピー ○ アロマセラピーの目的 ○ アロマセラピーの人体への作用					
	6～8	ハンドケア ○ 福祉皮膚美容の手技を習得する ○ 一般的な手技と福祉皮膚美容士の施術の違いを習得する					
	9～11	フットケア ○ 足のむくみなどのケアを習得					
	12～14	爪のケアとカラーリング ○ 福祉活動における爪のケア ○ QOL活動の満足感を与える一助の技術を習得					
	15・16	表情筋トレーニングとセラピーメイク ○ 表情を豊かにするセラピーメイクを習得する ○ QOLを高め満足感を与える一助の技術を習得					
	成績評価	①平常点(出席・授業態度・意欲) 100% *平常点は出席率100%で10%の評価とする。					
教科書・教材	福祉皮膚美容教本 (No1～No7)						
使用教具・器材	タオル、ネイル道具、メイク道具、マッサージオイル (教材を使用)						
テキスト・参考文献： 新版 からだのしくみカラー辞典							
その他(授業担当者のコメントなど) 色鉛筆(12色以上) A4サイズ(30穴)のリングファイル A4クリアファイル(配布資料の保存) 模造紙、色紙、風船、ボール等の使用有							

2021年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	1年次／後期			
科 目 名	サロン実務		担当教員	荒川 妙			
授業形態	講義・実習		授 業 時間数	64	単位数	2	授業回数 32
科目の到達目標及び授業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ エステティシヤンの仕事に対する意識を向上させる ・ 一連のサロンワークの流れを把握する ・ サロン実習に備え自ら行動し、即戦力となる人材を目指す 							
授 業 計 画 画	1	オリエンテーション エステティシヤンとしての自覚・心構え エステティックサロン及び美容系サロンでの就労の心構え（身だしなみ・所作等） 各種マナー（就労マナー・接客マナー・電話対応マナー） サロンでの1日の流れ					
	2・3	サロン研修トレーニング お出迎え～お見送り 予約の取り方・電話対応等 接客手順・各種マナー確認					
	4～30	サロン現場実習（9日間） 平日 11：00～18：00（実質6時間） （10：00～17：00） 日報作成					
	31・32	サロン現場実習振り返り レポート作成					
成績評価	①平常点(出席・授業態度・意欲・提出物) 60% ②レポート 20% ③サロン評価 20%						
教科書・教材	プリント配布						
使用教具・器材							
テキスト・参考文献： A4サイズファイル（配布資料の保存） クリップボード							
その他(授業担当者のコメントなど) 実習服での授業となりますので、常に清潔感を意識すること。 実習先への忘れ物がないようにし、時間を守り、業務連絡を的確に行い、相談報告を怠らないこと。 サロン実務とは何かを各自が考え、目的や目標をしっかりと立て、真摯に取り組むようにしてください。							

2021年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	2年次／後期			
科 目 名	エステティック理論（関連法規）		担当教員	新原 涼子			
授業形態	講義	授 業 時間数	16	単位数	1	授業回数	8
科目の到達目標及び授業内容 エステティックの語源や領域、ソワネスティックとは何かを理解する。エステティシャンとしてのやり甲斐や、現場で求められるエステティシャン像を理解する。 日本人ならではの「おもてなしの心」の素晴らしさを学び、傾聴スキルを身につける。 自身の性格タイプやコミュニケーションスキルを理解し、接客に役立てることができるようになる。 エステティックを職業とするにあたって必要な法規を理解し、実際のサロンワークで活用できるようになる。							
授 業 計 画	1・2	エステティックの概念					
	3・4	「おもてなし」と「傾聴」の大切さ					
	5・6	自己分析（エゴグラム）とアサーション					
	7	エステティック関連法規					
	8	後期試験					
成績評価	①平常点(出席・授業態度・意欲) 80% ②定期試験 20%						
教科書・教材	テキスト2 配布プリント						
使用教具・器材							
テキスト・参考文献：							
その他(授業担当者のコメントなど) プロのエステティシャンになることを見据えて、そのために何が大切であるかを学んでください。 積極的に接客やマナーにかかわる図書を読んだり、日常の対人関係を意識して過ごしてください。							

2021年度 授業計画表

学 科	エステティック学科	開講時期	2年次／通年			
科 目 名	皮膚科学	担当教員	高橋 美沙子			
授業形態	講義・演習	授業時間数	32	単位数	2	授業回数 16
科目の到達目標及び授業内容 ●人体のしくみを理解し皮膚への作用を学習する。 ●皮膚トラブルの要因と対処方法を学習する。						
授 業 計 画 面	1-2	体のしくみを復習 肌(体)心を結ぶ働きを学習する				
	3-4	皮膚について ① 皮膚の役割 ② 肌(皮膚)を見る ③ 肌に表れる様々な因子について ④ 正しく見る視点				
	5-7	皮脳同根について ① 皮膚は心の表れである所以を学習する ② 皮膚感覚(五感)について ③ 三つの脳の働きについて				
	8	前期試験				
	9-10	ホルモンと神経と皮膚の関係性について ① 体の調整役ホルモン ② 自律神経のリズム(ストレス)				
	11-13	肌質の分類 ① 乾燥肌の特徴 ② 脂性肌の特徴 ③ 肝斑(シミ) ④ しわ・たるみ				
	14-15	皮膚の障害 ① 接触性皮膚炎 ② 老化				
	16	後期試験				
成績評価	①平常点(出席・授業態度・意欲) 10% ②定期試験 90%					
教科書・教材	教科書 I プリント配布					
使用教具・器材						
テキスト・参考文献： 化粧品成分用語事典・コスメティックQ&A事典・美容皮膚科学事典						
その他(授業担当者のコメントなど) A4クリアファイル(配布資料の保存)						

2021年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	2年次／通年			
科 目 名	アロマセラピー（リフレクソロジー(反射区)）		担当教員	齊藤 晴美（美容業界にてアロマセラピー実務現役活動中） 中村 恭子（美容業界にてアロマセラピー実務現役活動中）			
授業形態	講義・実習		授 業 時間数	96	単位数	3	授業回数 48
科目の到達目標及び授業内容 アロマセラピーの基本的体系をはじめ、ワンランク上の専門知識と技術の習得を図り、サロンワークに役立つスキルを得る。また、パーツトリートメントとしてもニーズの高いフットやハンドを行う上で不可欠なリフレクソロジー（反射区療法）の知識と技術の習得も目指す。							
授 業 計 画	1～2	ガイダンス・教材配布・精油のブレンド・賦香率について・リフレクソロジー概論・反射区について					
	3～33	リフレクソロジー理論と実技 アロマセラピートリートメント理論と実践					
	34	前期試験筆記					
	35～37	前期試験実技					
	38～47	体質別アロマセラピーブレンド及びトリートメント					
	48	後期試験筆記					
成績評価	1) 平常点20%（出席点10%態度意欲10%） 2) 課題・小テスト20% 3) 定期試験60%（前期後期筆記各20%実技20%）						
教科書・教材	アロマセラピー検定公式テキスト・教科書4・その他プリント配布 タオル類・筆記用具・色鉛筆						
使用教具・器材	配布教材一式（1年次配布教材含む）						
テキスト・参考文献：							
その他(授業担当者のコメントなど) 理論の授業であってもエステユニフォーム着用、適切な身だしなみで受講してください。 植物アレルギーのある人、足の皮膚疾患（白癬菌等）に罹患している人は早めに申し出てください。							

2021年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	2年次／前期			
科 目 名	エステティック応用		担当教員	乙咩 純子 (美容業界にてエステティック実務現役活動中)			
授業形態	講義・実習		授 業 時間数	64	単位数	2	授業回数 32
科目の到達目標及び授業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ エステティックにおける電流の適用と特性を実践的に機器を用いて理解を深める ・ 身体のプロポーションについて、採寸、サイズダウン、痩身について理解を深める ・ 食餌療法と若さや健康について、三面美容の重要性を理解しサロンワークでのコミュニケーション力を身につける ・ 専門機器について、装置及び機材の名称、使用化粧品、機器の使用法と機器の手入れを学ぶ 							
授 業 計 画	1・2	理 論 痩身について 専門機器について (取り扱い方、注意事項、禁忌事項)					
	3・4・5	実 技 ボディ①					
	6・7・8	実 技 トレーニング					
	9・10・11	実 技 ・確認テスト					
	12・13	理 論 食餌について カウンセリング①					
	14・15・16	実 技 ・ボディ②					
	17・18・19	実 技 ・トレーニング					
	20・21・22	実 技 ・確認テスト					
	23	理 論 カウンセリング②					
	24・25・26	実 技 ・フェイシャル					
27・28・29	実 技 ・トレーニング						
30・31・32	実 技 ・確認テスト						
成績評価	1) 平常点 10% 2) 確認テスト 実技 60% 筆記 30%						
教科書・教材	プリント配布						
使用教具・器材							
テキスト・参考文献： クリップボード A4サイズファイル (配布資料の保存)							
その他(授業担当者のコメントなど) 実習服での授業となります。常に清潔感を意識すること。							

2021年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	2年次/通年			
科 目 名	造形と色彩		担当教員	柴田 知子			
授業形態	講義	授 業 時間数	32	単位数	2	授業回数	16
科目の到達目標及び授業内容 パーソナルカラリスト検定2級合格を目指す（2級取得者は1級取得を目指す） 色についての応用力を深め、色の知覚効果やCUSを用いた配色テクニックを学ぶ。 パーソナルカラーとスタイリングの関係を学ぶ。							
授 業 計 画 面	1. 2	第1章 色彩と文化～ 染料と顔料、それにより出来る色の種類と色名を知る ヨーロッパの歴史について					
	3. 4	第2章 色彩理論～ 色彩の基礎 混色・減法混色、加法混色、中間混色についての原理 照明と色・光源の種類、その用途、照明による色の見え方の違い 色の知覚効果・物理的な側面、心理的な側面から変化する色の見え方 加齢による眼の構造の変化、物の見え方					
	5. 6	第2章 色彩理論～ 基本的な配色テクニック					
	7. 8	第3章 CUS配色理論～ CUS配色調和論・色調によってアンダートーンが変化すること (特に明度の変化により、アンダートーンが変化することを知る)					
	9	第4章 色彩を活かす配色テクニック～ファッション、ディスプレイ、インテリア、色彩の活用テクニック ファッションとイメージワード、ディスプレイと色彩、インテリアと色彩					
	10. 11	第5章 パーソナルカラー～ パーソナルカラーとスタイリング					
	12. 13	第5章 パーソナルカラー～ パーソナルカラーとスタイリング・シーン別のコーディネート					
	14	前期試験					
	15. 16	パーソナルカラー検定対策 まとめ・過去問・解答・解説					
成績評価	1) 平常点 10% 2) 定期 90%						
教科書・教材	パーソナルカラリスト検定2級公式テキスト(2級・1級合板) カラーカードCUSカード157						
使用教具・器材							
テキスト・参考文献:	パーソナルカラリスト検定2級問題集 Color Arrangement						
その他(授業担当者のコメントなど)							

2021年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	2年次／通年			
科 目 名	東洋医学		担当教員	星野 晶子			
授業形態	講義	授 業 時間数	32	単位数	2	授業回数	16
科目の到達目標及び授業内容 プライマリエステティックを実践していくためには、皮膚、体にトラブルが発生する前にそれを未然に防ぐためのケアが行えるよう、人体のバランスを学ぶ必要がある。 東洋医学でいかに人間がバランスをとることで健やかに生きることができるか、衣食住の環境を整えることが心身の健康維持につながるかを学び、身近にある食品、植物、薬品とのかかわり、東洋医学とアロマ、アーユルヴェーダなどの補完代替医療のつながりを総括的に学び、その活用法を身につける。							
授 業 計 画 画	1	東洋医学とは					
	2	東洋医学－陰陽説と五行説					
	3	東洋医学－漢方の基礎－気・血・水、五臓六腑					
	4	食中毒や下痢、便秘など身近な病気と対処法（腸内フローラについて）					
	5	東洋医学－経絡について					
	6	熱中症					
	7	前期試験					
	8	東洋医学 - 主な経穴					
	9	東洋医学 - プライマリエステティック－正食法を中心に					
	10	東洋医学 - 病位の診断					
	11	アーユルヴェーダ概論					
	12	東洋医学－病位の活用法と経絡					
	13	東洋医学－症状別対処法					
	14	女性のホルモンバランスと更年期					
	15	女性特有の疾患					
	16	後期試験					
成績評価	1) 平常点 20% 2) 定期試験 80%						
教科書・教材							
使用教具・器材							
テキスト・参考文献：	プリント配布						
その他(授業担当者のコメントなど)	東洋医学的な考え方からお客様の体に直接触れるエスシェンとして自身がいかに健康を保つか、お客様に的確なアドバイス、共感ができるようになるヒントになるような授業です。平常点は宿題の提出、内容、授業の出欠、態度を考慮していきます。						

2021年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	2年次／前期			
科 目 名	ボディワーク		担当教員	小柳 佐知子			
授業形態	講義・実習		授 業 時間数	32	単位数	1	授業回数 16
科目の到達目標及び授業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ヨガで心身統一 ・姿勢改善 ・自律神経を整え、心身の健康を目指す ・ヨガを通して生活を豊かにする 							
授 業 計 画	1	自己紹介、授業の進め方、ヨガの鼻呼吸、呼吸法（腹式呼吸）、リラクソヨガ（座位、仰臥位中心）					
	2	体調確認、本日の流れ、ヨガとは、呼吸法（腹式呼吸）、リラクソヨガ（座位、仰臥位メイン）					
	3・4	体調確認、本日の流れ、ヨガの体の使い方、呼吸法（腹式呼吸、完全呼吸）、リラクソヨガ（座位、仰臥位メイン）					
	5・6	体調確認、本日の流れ、体を柔軟にするツボ、呼吸法（腹式呼吸、完全呼吸、片鼻呼吸）、太陽礼拝A（立位追加）					
	7・8	体調確認、本日の流れ、トレーニングのやり方、呼吸法（腹式呼吸、完全呼吸、片鼻呼吸）、太陽礼拝A（立位、バランス追加）					
	9・10	体調確認、本日の流れ、食事のとり方、呼吸法（腹式呼吸、完全呼吸、片鼻呼吸、クンバカ）、太陽礼拝A、B（立位、バランス追加）					
	11・12	体調確認、本日の流れ、脚の使い方、呼吸法（腹式呼吸、完全呼吸、片鼻呼吸、クンバカ）、太陽礼拝A、B、美脚ヨガ					
	13・14	体調確認、本日の流れ、骨盤について（三陰交のツボ）、呼吸法（腹式呼吸、完全呼吸、片鼻呼吸、クンバカ）、太陽礼拝A、B、骨盤調整ヨガ					
	15・16	体調確認、本日の流れ、ダイエットについて、呼吸法（腹式呼吸、完全呼吸、片鼻呼吸、クンバカ）、（ボディメイクヨガ、総復習）					
成績評価	平常点 100%						
教科書・教材							
使用教具・器材	ベルト、マット、ブロック、お水、タオル						
テキスト・参考文献：							
その他(授業担当者のコメントなど) 靴下やストッキングは脱いで行います。 動きやすい恰好をお願いします。							

2021年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	2年次／前期			
科 目 名	キャリア形成		担当教員	畑山 未来			
授業形態	講義・演習		授 業 時間数	16	単位数	1	授業回数 8
科目の到達目標及び授業内容 学生から社会人へと自己意識を変革させる 働くことの意味を真に理解し、就職後の実践に必要な「考え方・行動・技術」を身に付けるために3つの能力を習得することを目標とする ・ビジネスマナー（冠婚葬祭マナー・メール文書）、仕事の進め方 ・コミュニケーションスキル「サービスにおける傾聴力」 ・考える力、論理的思考能力、表現力							
授 業 計 画	1	オリエンテーション・自己紹介、一年次復習（ビジネスマナーとは・社会人とは）					
	2	仕事の進め方、論理的思考トレーニング（考える力）					
	3	文章の書き方、プレゼンテーション・スピーチの基本（書く力・話す力）					
	4	メール文書・手紙の書き方（敬語、お礼状・添え状）					
	5	冠婚葬祭のマナー					
	6	コミュニケーションスキルを磨く「サービスにおける傾聴力」①					
	7	コミュニケーションスキルを磨く「サービスにおける傾聴力」②、試験対策					
	8	前期試験					
成績評価	①平常点(出席・授業態度・意欲) 20% ②定期試験 80%						
教科書・教材	配付プリント						
使用教具・器材	パソコン、プロジェクター						
テキスト・参考文献：							
その他(授業担当者のコメントなど) 「キャリア形成」で学ぶことは、「学生」から「社会人」へ羽ばたくために必要なスキルです。 日々の考え方・行動が習慣を変え、人生を変えていきます。 どんな社会人になりたいのか、就職してからの自分をイメージしながら、授業に取り組んでください。							

2021年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	2年次／前期			
科 目 名	茶道		担当教員	関野 ちか			
授業形態	講義・実習		授業時間数	32	単位数	1	授業回数 16
科目の到達目標及び授業内容 日本の伝統文化である茶道を通して、立ち居振る舞いとおもてなしの心を会得する。 点前の作法から日常生活の向上と合理性を理解し、茶道を生活の中に生かすとともに礼儀を学ぶ。 浴衣を着ることで所作を身につけ、きれいに早く着ることができるようになる。							
授 業 計 画	1～2	茶道とは 古儀茶道藪内流について 茶席のマナー 浴衣着付け お辞儀の仕方（扇子の扱い方） 薄茶、お菓子のいただき方					
	3～4	立ち居振る舞い 道具について 割り稽古（ふくさ捌き） 薄茶、お菓子の運び方					
	5～6	割り稽古（茶碗、茶筌の扱い方、茶巾のたたみ方） 主菓子と干菓子					
	7～8	割り稽古（棗、茶杓、柄杓の扱い方）					
	9～14	風炉薄茶 運び点前 客と亭主					
	15	風炉薄茶 山里棚点前 客と亭主					
	16	まとめ 茶会					
成績評価	1) 平常点 50% 2) 実技テスト 50%						
教科書・教材	ふくさ・扇子・懐紙・菓子切り 浴衣一式・足袋または白色ソックス						
使用教具・器材	ふすま・たたみ・毛氈・電気ポット・延長コード 風炉釜・茶碗・茶杓・茶筌・棗・茶巾・柄杓・蓋置・建水・菓子器						
テキスト・参考文献：							
その他(授業担当者のコメントなど) 授業の始めと終わりに畳をから拭きすること。 浴衣を着て授業をします。髪は結んでまとめる。 欠席、忘れ物などは減点評価になります。							

2021年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	2年次/通年			
科 目 名	福祉皮膚美容		担当教員	鶴 舞子			
授業形態	講義・実習		授業時間数	32	単位数	1	授業回数 16
科目の到達目標及び授業内容 高齢者における美容の役割を認識し技術を学ぶ 高齢者の五感のバランス機能について学び、その五感をフルに活用した美容技術・知識を習得する							
授 業 計 画 画	1-2	◆福祉皮膚美容の倫理と緩和ケアについて ◆人体の基礎知識					
	3-4	◆ハンドケア・フットケア 緩和ケアへの技術(3つの配りをもった技法)を学ぶ パルパシオンマッサージの理解					
	5-6	◆アロマセラピー					
	7-8	◆演習 セラピーメイク・カラーリング セラピーメイク(お化粧が高齢者にもたらす影響) ネイル(カラーリング)					
	9-10	◆レクリエーション					
	11-12	◆レクリエーション					
	13-14	◆レクリエーション					
	15-16	実技テスト					
成績評価	① 平常点 30% ② 実技テスト 40% ③ レポート 30%						
教科書・教材	福祉皮膚美容テキスト (No1~No7)						
使用教具・器材	マッサージオイル・メイク道具・ネイル道具・タオル・その他 色鉛筆 (12色以上)						
テキスト・参考文献:							
その他(授業担当者のコメントなど) 3つの配り(目配り・気配り・心配り)を自分の力とすることを日頃から気に留めてください。							

2021年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	2年次/後期			
科 目 名	サロン実務		担当教員	荒川 妙			
授業形態	講義・実習		授 業 時間数	288	単位数	9	授業回数 144
科目の到達目標及び授業内容 <ul style="list-style-type: none"> ・ エステティシャンの仕事に対する意識を向上させる ・ サロンワークに必要な、接客マナー、実践テクニック、営業力、コミュニケーション能力を身につける ・ 相手の立場になって行動できる人材を目指す ・ 視野を広く持ち、あらゆる角度から思いやりや気配りが出来るようになる ・ 対価を得る仕事を体験し、サロン運営の在り方を学ぶ ・ 就職後、即戦力となるようサロンでの現場力を磨く 							
授 業 計 画 画	1	オリエンテーション エステティシャンとしての自覚・心構え エステティックサロン及び美容系サロンでの就労の心構え（身だしなみ・所作等） 各種マナー（就労マナー・接客マナー・電話対応マナー） サロンでの1日の流れ					
	2	サロン研修トレーニング お出迎え～お見送り 予約の取り方・電話対応等 接客手順・各種マナー確認 救急の確認 美容機器の取り扱いについて					
	3～143	サロン現場実習 平日・土日 11:00～18:00（実質6時間） （10:00～17:00） 日報作成・レポート提出					
	144	サロン現場実習振り返り レポート作成 その他予定 地域貢献ボランティア 体験学習					
成績評価	①平常点(出席・授業態度・意欲・提出物) 60% ②レポート 20% ③サロン評価 20%						
教科書・教材	プリント配布						
使用教具・器材							
テキスト・参考文献： A4サイズファイル（配布資料の保存） クリップボード							
その他(授業担当者のコメントなど) 日頃から姿勢と笑顔を意識しエステティシャンとしての良い雰囲気をつくる。 実習先への忘れ物がないようにし、時間を守り、業務連絡を的確に行い、相談報告を怠らないこと。 サロン実務とは何かを各自が考え、目的や目標をしっかりと立て、真摯に取り組むようにしてください。							

2021年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	2年次／通年			
科 目 名	メイクアップ応用		担当教員	齊藤 晴美 (美容業界にてメイクアップ実務現役活動中) 中村 恭子 (美容業界にてメイクアップ実務現役活動中)			
授業形態	講義・実習		授業時間数	128	単位数	4	授業回数 64
科目の到達目標及び授業内容 1年次に習得したメイク技術を更に進化させ、多様なバリエーション、TPOに合わせたメイク、アーティスティックメイク等の習得を図る。 ヘアメイクアップフォトコンテスト参加の為に作品制作、入賞をねらう。 ※今年のテーマ 「Re start」～再び動き始める時～							
授 業 計 画 画	1～3	教材配布・TPO別世代別サロンメイク①					
	4～6	TPO別、世代別サロンメイク②					
	7～30	スチールメイク					
	31～33	前期実技試験					
	34～43	作品制作					
	44～61	ステージメイク・アーティスティックメイク (ピエロ・ハロウィン・歌舞伎・タカラヅカ・バレエ・日舞・舞妓)					
	62～64	後期実技試験					
成績評価	1) 平常点 20% (出席点 10%・態度意欲 10%) 2) 課題 20% 3) 実技試験 60% (前期・後期各 30%)						
教科書・教材	メイク道具一式・タオル類・デザイン帳・サインペン・色鉛筆・絵具類 ※ボディペインティング、作品制作を行う場合はエステガウン、エプロン持参						
使用教具・器材							
テキスト・参考文献：							
その他(授業担当者のコメントなど) 毎回実技を行いますのでメイク道具一式を必ず持参してください。忘れた場合、授業は見学となり実習に参加できません。 作品制作は写真撮影、ヘアスタイリング、衣装や背景に使用する道具類も全て各自で行います。道具類の管理は各自の責任で行ってください。 授業内では指定の道具以外を使用することは禁止とします。 毎回エステユニフォーム着用、適切な身だしなみで受講してください。							

2021年度 授業計画表

学 科	エステティック学科		開講時期	2年次／通年			
科 目 名	ネイル応用		担当教員	中溝 恵美（美容業界にてネイル実務現役活動中）			
授業形態	講義・実習		授業時間数	128	単位数	4	授業回数 64
科目の到達目標及び授業内容 ネイルケア・リペア・チップラップ・ジェルネイルなどサロンワークに適応できる知識と技術を身につける ネイリスト技能検定試験2級とジェル検定初級に興味を持ち挑戦する フラットアート・3Dアートなどのサロンアートを幅広く学ぶ オリジナルの感性を生かし、テーマに沿ったアートを作り出す力を身につける							
授 業 計 画	1～3	商品説明・テーブルセッティング（ジェルを塗る）					
	4～6	消毒法・ジェルネイル基礎学（ジェルオフ）					
	7～15	ジェルアート ピーコック（ジェル検定アート・ジェルアート）					
	16～24	ラップ・リペア・チップ装着・チップラップ（2級の流れ・フラットアート）					
	25～30	前期テスト 予習時間（ジェル赤・ピーコック・チップラップ）					
	31～33	前期テスト（ジェル赤・ピーコック・チップラップ）					
	34～43	3Dアート アクリルスカルプチュア					
	44～55	サロンアート・ブライダルネイルアート					
	56～58	クリスマスアート・成人式アート					
59～64	卒業制作 後期試験						
成績評価	1) 平常点 10% 2) 定期試験 90%						
教科書・教材	JNAテクニカルベーシック ネイル教材一式 その他（タオル・キッチンペーパー・コットン）						
使用教具・器材							
テキスト・参考文献：							
その他（授業担当者のコメントなど） 忘れ物がないようにしてください。ネイル道具の管理（消毒・保管）各自の責任で行ってください。							